

## 令和4年度第2回代表幹事会議事録

【日 時】 令和4年(2022年)11月27日(土) 10:00 ~ 12:00

【場 所】 Zoom 会議

【出席者】 役員：久保田会長、三澤幹事長兼副会長、山岸副会長、小松副会長、太田副会長、衣袋副会長、  
百瀬副会長

代表幹事：仁科渉外委員長、森本総会指導委員長、濱田 HP 管理委員長、二木6年委員会委員長、  
松澤事務局長、佐藤事務局次長、小岩井第56回実行委員長

【欠席者】 戸田広報委員長、脇川財政委員長、松沢代表幹事、清水会計委員長

計 14 名参加

議事進行：運営細則第5条総務委員会第1項に基づき、百瀬総務委員長兼幹事長補佐が第一回代表幹事会議題にそって議事進行を行った。

### 1. 久保田会長の挨拶

- ・ 皆さん今日はお集まり頂きありがとうございました。
- ・ 長年、気に掛かっていた会則・細則の検討を皆さんで出来るということを嬉しくおもいます。
- ・ 今日はいししくお願い致します。

### 2. 運営細則と各委員会活動の把握

(1) 森本代表幹事が、別紙1に基づき改定案を説明

(2) 百瀬総務委員長が、別紙2に基づき総務委員会・100周年記念事業委員会(11月13日の委員会報告)の改定案を説明

(3) 衣袋縣陵レディース委員長が、11月13日(土)の同委員会での改定案を説明

- ・ 縣陵レディースの名称の変更を検討したらどうか。
- ・ 女性参加の促進のために行事を企画・実施しているが、6年委員会と共同開催しても良い。
- ・ 運用の問題だが、行事だけ実施していれば良いのか検討が必要。参加者も固定化している。
- ・ 行事の告知方法に検討が必要。

(4) 仁科渉外委員長：現状、特段の活動をしていない。

(5) 濱田 HP 管理委員長

- ・ 当委員会は広報委員会と関係が深く、独立させるほどのことをしていない。
- ・ 運用でカバーできるか、予算付けの問題もあるので考えたい。

(6) 二木6年委員長が、別紙3に基づき東京同窓会の課題(11月20日の委員会報告)を説明

- ・ 会則・細則の変更というより、現在の東京同窓会の課題を議論した。
- ・ 会則の変更を考える前に、若手が参加したくなる同窓会とは何かを考えたい。
- ・ 現時点での諸課題を解決する為には、東京同窓会の活動はどうあるべきかを考えたい。
- ・ 多忙な現役世代が参加しやすくする同窓会活動とは何かを重要。

(7) 佐藤事務局次長

- ・事務局は名簿管理くらいしか活動していない。
- ・今後、松本本部からどのようにして名簿を入手するかが大きな課題になっている。
- ・そのうえで若い人の掘り起こしを考えていきたい。
- ・SNSでの交流が進んでいる一方で住所は入手できなくなっている。

(8) 濱田 HP 管理委員長

- ・小さいことの積み重ねから始めている。縣陵ブランドの積み上げが必要。そのための同窓会。
- ・考え方ややり方が多様化している。高 73 回の K さんなど若手の意見を取り入れてイベントの企画もした。ゴルフ・アルペン会など切っ掛けを作るとその後の繋がりができる。
- ・高 40 回の西村さんに大学生むけの就活相談会を行い、懇親会も実施したことがあるが、そういった形で繋がりが広がっていく。
- ・若手よりも中堅層の掘り起こしが難しい。
- ・来年の 100 周年のイベントを上手く活用して幅広く同窓会員の掘り起こしを考えていきたい。

(9) 小松副会長

- ・いままで「継承」に重きを置いていたが、会則の変更を考えるに当たっては、二木さんのご提案の通り、基本的なビジョンをまず決めることが大事で妥当性が有るということを感じた。
- ・若手がどう変えていくかについては、イベントの内容が多様化している中で、若い人の意見を大いに導入して、数人集まるイベントから興味のあるところから始めて会員になってもらう事を期待したい。

(10) 仁科渉外委員長

- ・松本と連携して意識を高めていくことも大事だと思う。

(11) 山岸副会長

- ・我々は、継続＝部活の延長という意識が有ったが、若い人の考え方は大分変わってきていると感じた。
- ・企画・戦略の部署の必要性を感じた。

(12) 太田 100 周年記念事業委員長

- ・OB 会は沢山ある。活動としては、1 年に 1 回お知らせを出して、1 年に 1 回確実にみんなが集まれる機会を設けて情報交換や懇親会を継続していつている。心の繋がりを求めている。それに近いものでも良いのではないか。

(13) 小岩井実行委員長

- ・来年は 100 周年というきっかけになるので、出来るだけたくさんの人に来てもらえるようにしたい。
- ・若い人やここ 10 年くらいの先輩方にも多く来てもらいたい。あの時、会えたから続いているねというイベントにしたい。

(14) 三澤幹事長

- ・コロナ禍で距離感がある中で、今回、会則・運営細則の見直し、本質的には各委員会が抱えている問題について議論する良い機会になった。
- ・私自身は同窓会の運営に関わってから 25-26 年以上経つ。東京同窓会の良さは、母校愛のリレーにある。卒業後 30 年を契機に同期で集まったというのが大きな流れ。現実的に若い人がどう出会っていかかが大きな課題だが、時代の変化に合わせてどう繋げていくかの解決策を考えていきたい。
- ・いまの東京同窓会を否定して白紙にして行くわけにはいかない。みんなで知恵を出し合って考えていきたい。
- ・森本さんからは、現実的な指摘を頂いたので、たたき台として参考にしていきたい。
- ・同窓会の役割は重要になってきている。東京同窓会は誰の為にあるかという論点からすれば、卒業・在籍した縣陵生の OB 会、若手の支援、などを考えていきたい。
- ・東京同窓会の戦略の決定機関としては代表幹事会が中心的な役割を持つ。今日のご意見を総務委員長

が中心に取り纏めて頂き、これから進めて行きたい。

(15) 久保田会長

- ・ 私がずっと望んでいた方向に向かっているのが嬉しい。
- ・ 同窓会とは何か、誰の為にあるのか、どうしたいのかというビジョンが無いと、官僚的な同窓会になってしまう、若い人が付いて来なくなる。
- ・ 今日は、良い提案をして頂き嬉しいです。有難うございました。

※ 審議の上、本日、二木委員長から提案の有った「縣陵東京同窓会のビジョン」と「会則・細則の変更案」を代表幹事会で並行して検討していく。

※ 次回の代表幹事会（1月）は「縣陵東京同窓会のビジョン」を中心に議論する。

(参考資料)

別紙4 2022年度学年幹事名簿を参照願います。(HPには未掲載)

3. その他

(1) 第56回東京同窓会総会・懇親会開催準備状況報告（小岩井実行委員長、二木副実行委員長）

- ・ 別紙5『第56回東京同窓会総会・懇親会』に基づき報告
- ・ 審議後、計画通り進めて行くことで承認された

(2) 100周年記念事業祝賀会準備状況報告（太田委員長）

- ・ 寄付金については、10月末で目標額84百万円に対して52百万円集まる（達成率：63%）  
寄付者は同窓生約2万人に対して、寄付者約2,600人（13.2%）
- ・ 別紙6にて、HP掲載内容の変更と追加を説明（濱田HP管理委員長が補足説明）  
変更：会費納入、ふるさと納税に関する部分を変更、スマホ対応に変更  
追加：100周年寄付のお願い、オンライン振込の案内、振込先にゆうちょ銀行を追加  
東京会場での開催案内

(3) 縣陵レディース委員会行事開催報告

- ・ 3年ぶりに「隅田川テラスウォーク&水上バスで浅草～浜離宮」を実施
- ・ 開催日：10月22日（土）、参加者36名（男性15名、女性18名、同伴者3名）
- ・ HPに記事・動画を掲載している。

(4) 同好会活動報告

- ・ 久保田会長より「あひるの子の会」の活動状況にて報告有り

(5) 同窓連関係（山岸副会長）

- ・ 中信同窓連の12月の懇親忘年会は中止となった。
- ・ 東京同窓連の2月の新年会は実施する方向で検討している。

4. 閉会挨拶（三澤幹事長）

- ・ 本部新年会は1月3日に開催予定。現時点では、東京同窓会への特段の要請は来ていない。
- ・ 成人式は、高71～73回を対象に実施予定
- ・ 今日是有難うございました。コロナの新規感染者数がまた増えて来ているのでご注意ください。  
来年の1月の後半に代表幹事会を予定しているので引き続き皆様のご協力をお願い致します。

以上